

# DLC被膜事業を拡大

## テクノ車部品狙い新工場も

ナノテック(千葉県柏市、中森秀樹社長、04・7169・2660)は、自動車部品向けのダイヤモンドライクカーボン(DLC)コーティング事業を拡大する。工場の新設も含め設備増強を進めており、自動車部品メーカーを中心としたお誘い盛な需要に対応する。DLC受託加工の売上高を05年3月期に前年度比約20%増となる3億円規模に拡大し、装置販売に次ぐ収益源にする。

## 今期売上高3億円に

ナノテックは現在、本社工場(埼玉県白岡町)、テクニカルセンタ(千葉県柏市)、九州工場(福岡県須恵町)の各拠点でDLC被膜の受託加工を展開。05年秋をめどに、テクニカルセンタに真空炉サイズが直径1.5×奥行3.5mの大型DLC装置を設置し、安定した加工体制を整える。装置は現在開発中。例えば「フロン」など、一度に200個程度の成膜が可能になるといふ。また年内にも、4力所目となる工場を仙台市内に建設、装置1台を設置して加工サービスを始め

る。さらに九州工場の拡張にも乗り出す。九州にはトヨタ自動車と日産自動車が生産拠点を構えており、装置を増設して周辺に立地する部品メーカーの需要を取り込む。DLC被膜はピッカー硬度1000-3000の間で成膜できる。膜形成によって摺動性が良くなり、燃費向上につながることからピストン

リングやコンロッド、バルブなどエンジン周辺部品の需要が高い。ナノテックは自動車メーカー各社の研究部門にDLC装置を納入した実

【浜松】ユタカ技研は27日、中国に自動車部品メーカーを生産する全額出資会社「佛山優達佳汽配有限公司」(広東省佛山

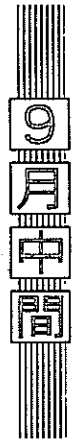
技研 ユタカ 中国に生産会社  
ATトルク コンバーター  
アアジアで能力増強  
増加している。引き続き「自動車業界へのアプローチを強める」(中森社長)方針だ。  
佛山優達佳汽配は資本金12億6000万円。投資額11億円で、敷地5万平方メートルに延べ8000平方メートルの工場を建設中。06年1月からトルクコンバーターに供給する。当初は月産1万5000個。タイ工場からの輸出を切り替える。  
既存の佛山市豊富汽配

## ホンダ アジア向け4輪好調

関連会社の31.9%増の47億円  
持ち分利益

ホンダの上期(04年9月中旬)として過去最高の業績は、急成長を続けるアジア事業がけん引した。アジアを中心とした

アジア向けの4輪売上台数は同57.1%増の25万6000台と躍進。2輪も同30.5%増の41.6万2000台と急成長力一アブを描いている。



(一面参照) そのほか目につくのが国内での4輪販売の回復。昨年投入したミニバン「オテッセイ」に加え

## 自動車生産 上期、2年ぶり増 輸出も欧州向けなど好調

日本自動車工業会が27日まとめた04年度上期(4-9月)の自動車生産

04年4-6月の海外生産統計  
(単位:台、日本自動車工業会調べ、カッコ内は前年同期比増減率%、マイナス)

	4-6月	
アジア	944,053	(23.7)
中近東	2,400	(2.4倍)
欧州	345,033	(3.2)
(EU)	307,675	(11.2)
北米	945,375	(14.2)
(米国)	768,155	(14.4)
中南米	128,526	(11.5)
アフリカ	46,720	(9.5)
大洋州	33,092	(14.3)
合計	2,445,199	(15.2)

全体を押し上げた。輸出では中国向けが足踏みしてアジア向けが前

国内販売が伸び悩む自

## 国内販売、4輪今年

ホンダは27日、4輪車の04年度国内販売目標を当初の77万台から3万台引き下げ、74万台とした。新型ミニバンが好調で04年9月中旬でも販売台数を伸ばしたホンダだが「現実的な目標値」(雨宮高一副社長)に修正した。